

令和元年

目黒区教育委員会

第19回定例会会議録

(令和元年5月28日開催)

第19回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 令和元年5月28日

開催場所 教育委員会室

出席委員	教育委員会教育長	尾崎 富雄
	教育委員会教育長職務代行者	後藤 幸子
	教育委員会委員	櫻井 道雄
	教育委員会委員	笹尾 敦夫

出席職員	教育次長	秋丸 俊彦
	教育政策課長（学校統合推進課長兼務）	
		山野井 司
	学校ICT課長	今村 茂範
	学校運営課長	濱下 正樹
	学校施設計画課長	鹿戸 健太
	教育指導課長	竹花 仁志
	教育支援課長	酒井 宏
	統括指導主事	寺尾 千英
	統括指導主事	片山 順也
	生涯学習課長	千葉 富美子
	八雲中央図書館長	増田 武

書記		小野塚 幸隆
		森 高 健二郎

(議事日程)

日程第1	議案第11号	目黒区文化財保護審議会委員の委嘱について
日程第2	報告事項	教育委員会事務局各課の主要課題について
日程第3	報告事項	平成30年度目黒区立学校における不登校の状況について
日程第4	報告事項	インフルエンザによる学級閉鎖の状況について

資料配布

- ・区議会議員の役職等名簿
- ・令和元年7月行事予定表
- ・目黒区放課後子ども総合プラン（2019年度事業案内）

(午前9時30分開会)

- 教育長 令和元年第19回目黒区教育委員会定例会を開会いたします。
本日の欠席委員は中山委員です。欠席職員はおりません。署名委員は、笹尾委員です。
それでは日程第1を議題とします。

(日程第1 議案第11号 目黒区文化財保護審議会委員の委嘱について)

- 説明員 (資料により説明)
○教育長 この件についてご質問等はございませんか。
特にないようですので、採決を行います。
本件に賛成の委員は挙手を願います。

(全員挙手)

- 教育長 全員賛成ですので、議案第11号は原案どおり可決します。
次に日程第2を議題とします。

(日程第2 教育委員会事務局各課の主要課題について(報告事項))

- 説明員 (資料により説明)
○教育長 この件についてご質問等はございませんか。
○委員 まず、1ページの教育政策課の3番目「学校業務の委託化」のところですが、これから委託範囲をまとめていくと記載されていますが、どのようなものを委託するのか、今お答えできる範囲で決まっていれば、教えてください。
2点目は、この主要課題は平成30年度にも作られたと思うのですが、その検証結果が聞きたいです。昨年も申し上げたかもしれませんが、この主要課題は各課でそれぞれの課題が分かりやすく書かれていますが、その課題に対する結果がどうなったのかについては、報告がないため分かりません。昨年度の課題に取り組んだ結果を教えてください。可能でしょうか。
○説明員 まず1点目ですが、まだ具体的に決まっているわけではありませんが、範囲というのは色々な意味がありまして、学校では用務、警備、学童擁護、児童交通安全擁護と様々な職種があり

まして、用務以外は今年度から全て非常勤になっている状況です。用務は、今後10年、15年かけて常勤職員が退職していきますけれども、その中で、どの業務のどの部分を委託するのかというのが1つ。それから、そういう業務の委託にあわせて、学校施設の維持・管理などの部分で既に委託しているものをどうかみ合わせていくのか、そういったことを今後さらに具体的に検討し、どういうスケジュールで進めていくのかなどを詰めていくという状況です。

○教育長 2点目は、委託化の検証です。PDCAで、それが適切になされているかどうかということです。

○説明員 委託化はこれからですので、検証も実施後になりますけれども、今まで常勤職員を非常勤化してきた現状がどんな状況なのかということについては、平成26年度に内部で、学校職員を入れて検討委員会を立ち上げまして、そこで一定の状況のまとめをしています。それを踏まえて、改めて検討会を立ち上げて、議論をしているところですが、非常勤化が進んで、研修の部分で、常勤職員の役割がなかなか果たせないような状況もあります。そうしたことも踏まえて、具体的にいつまでに、どこまでをやっているかなければいけないのかということこれから詰めていこうという状況です。

○委員 委託の範囲については分かりました。ありがとうございます。
私がもう一点聞きたいのは、昨年度の各課の課題全てを今年検証してどうだったかということです。昨年この主要課題を作られ、私たちに説明していただき、その課題に対する検証をその後なさっていると思います。その課題に取り組んだ結果、どうだったのか、どれだけ達成できたかということを知りたいのですが、いかがでしょうか。

○説明員 各課の主要課題としてご報告したものの個別の検証という意味では、特段していません。各課の主要課題は、先ほどご説明した目標によるマネジメントも踏まえて作成し、教育委員の皆さんと共通理解を図ろうということで、この時期にご報告させていただいています。具体的なPDCAとしては、ここに掲げている主要課題も踏まえて各年度の教育行政運営方針の実施策に挙げている具体的な取組を点検評価していますので、そこでPDCAを回しています。

それから、目標によるマネジメントについては、個々の評価に

も結び付くものなので、教育委員会には報告をしません、設定時と中間時点を基本として、節目には上司とヒアリング等をした上で進行管理しております。

○委員 2020年から始まる新しい教育の中で、ICT教育がクローズアップされています。この主要課題を見ると、まずハードを揃え、それからどのようなICTを生かした教育を進めていくか議論するということが書かれていますが、是非お願いしたいことがあります。これからICTによって社会が大きく変化し、教育方法も変わっていくと思います。その中で、何よりも子どもの想像力を豊かにできるようにICTを生かした教育を進めていただきたいと思います。そして、子どもを成長させ、社会をさらに成長させるよう取り組んでいただきたいです。

○説明員 ご指摘のとおり、これからAIが進展していく中で、教育環境も変わると思いますし、子どもたちに求められる力も変わっていくと思います。その求められる力の中でも、プログラミング的思考力がこれからは重要になると思いますので、表現力、思考力、判断力の育成とのバランスをとりながらプログラミング的思考力を育成するように努めていきたいと思います。

○委員 医療の世界は全く変わります。かつては、体の中を見ることができませんでした。それが今、CT、MR、エコーにより、体の中を見ることができます。今の医学と昔の医学は、全く次元が違います。これからの10、20年後の医学も、AIの導入により今と全く違うものになります。だから、医療の世界をはじめ、様々な分野でそういう時代にかかわることについての議論が真剣になされています。その中で、もっとも大事なことは教育だと思います。教育に日本の再生の可否がかかっていると思います。ですから、今そこにかかわっている先生たちには、そういう意識を持って仕事をしていただきたいと思います。

○委員 生涯学習課の「生涯学習実施推進計画に基づく施策の推進」の今後の方向に、多くの区民が参加でき、日頃の学びの成果を生かせる内容としていくと記載されていますが、区民の方々、特に年配者が誰でも参加できる内容にはなっていないと思いますので、一層力を入れて取り組んでいただきたいと思います。

もう一つは、学校統合推進課の区立中学校の適正規模・適正配置についてです。この課題は、昨年度から区民の方々に情報が届けられており、関心の高いものとなっています。この課題の今後

の方向に「区立中学校の統合に向けた進め方（案）」の再調整を行い、統合方針の改定につながると記載されていますが、この周知の仕方が非常に難しいです。具体的なものではなく、再調整していますとしか伝えられないものですから、聞く側にとっては大分不満がありそうな印象を受けました。

そのため、この再調整の内容を具体的に区民の方々に周知徹底していくことに力を入れていただきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

○説明員 人生100年時代、いくつになっても学び続けるということは必要だと思っております。高齢者の関係課とも連携をとりながら、高齢者向けの講座、どの世代でも幅広く参加できるような講座の工夫等を検討してまいりたいと考えております。

○説明員 ご指摘の点は、先日行いました教育施策説明会でも、統合の説明をしたこともあって、様々なご意見をいただきました。難しい部分もありますけれども、なるべく具体的に分かりやすく、どのようにしたら伝えられるのか、工夫しながら進めていきたいと思っております。

○委員 8ページの教育支援課の主要課題のうち、「不登校等への対応の取組の推進」の今後の方向の中で、教育相談員によるこども園でのペアレントトレーニング講習会と書いてありますが、これはどういう経緯で行っている講習会ですか。

○説明員 一昨年、幼稚園・子ども園長会から夏休み中にペアレントトレーニングの講習会をやってほしいという要望があり、行っているものでございます。他区では10日程度実施している講習会ですけれども、本区ではすくすくのびのび園で実施しているものですから、教育委員会事務局では紹介として位置づけ、1日のみ実施しているものです。

○教育長 その他ご質問等ございますか。
特にないようですのでこの報告を受けました。
次に日程第3を議題とします。

(日程第3 平成30年度目黒区立学校における不登校の状況について(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございませんか。

○委員 2ページに小学校の不登校の出現率と、中学校の不登校の出現率のグラフが出ており、小学生のグラフでは、目黒区は全国と似たような動きをしていますが、中学校のグラフでは、平成27年度から平成29年度までの間、目黒区は全国や東京都と逆相関の動きをしています。先ほどの教育指導課の主要課題のいじめのところで、連続7日以上欠席者を確実に報告させ、早期発見、早期対応を実施すると記載されていますけれども、このグラフの動きはこの主要課題と関係しているのでしょうか。もし関係していないのならば、なぜ逆相関の動きをしていたのか、そして平成30年度になって上昇していることをどう分析しているのか教えてください。

○説明員 主要課題のいじめの発見のための報告は、今年度から各学校に徹底させるものでございますので、このグラフとの関連はございません。

それから、グラフのカーブについてですが、平成27年度から平成29年度にかけて1学級当たりの生徒数が減少したことや、平成30年度に1学級当たりの生徒数が増えたことも遠因になっている可能性はありますが、不登校は様々な要因によって生じておりますので、カーブの要因を特定することは難しいと考えております。

○委員 不登校は、子どもを持つ親としては切実な問題です。不登校の理由に「学業の不振」が挙がっており、小・中学校ともこの数値が高いです。中学校は、全学校でeラーニングシステムを導入しており、多くの生徒がそれを使用しています。学校にいる時間は、圧倒的に勉強している時間が長いので、その時間が楽しくなかったら学校に行きたくないと思うのは、当たり前であり、そこをサポートするeラーニングシステムは素晴らしいと思います。

小学校も不登校の要因として「学業の不振」が高い割合になっていますが、この要因に対してeラーニングシステムの活用などの検討をしているのでしょうか。

○説明員 小学校でのeラーニングシステムの活用についてでございますけれども、中学校は各校で利用できるようになっているのに対し、小学校は、めぐろエメールで申請をすることで利用できるようになっております。eラーニングは、小学校も中学校も利用できる状態です。

それから、eラーニング以外の対策ですが、少人数の集団によ

る指導が学業の不振に効果があると考えております。現在、小学校では算数を中心に少人数指導を展開している中で、特に学力の低位層に対する指導の充実を進めているところです。

○委員 7ページ以降で、様々な方法による相談件数が記載されていますが、その中で、教育相談員の人数が11人とされていますけれども、この数字は児童・生徒数や相談件数を踏まえて決められているのでしょうか。

また、スクールカウンセラーの派遣人数でも同じことが言えますので、そちらについてもお答えください。

○説明員 教育相談員とスクールカウンセラーについてですが、前者の教育相談につきましても、昨年より相談件数が増えたため、教育相談員の人員の妥当性について検討いたしまして、増員を要望しましたが、今年度は見合わせになってしまいました。来年度も、これについては検討してまいりたいと思います。

それから、スクールカウンセラーにつきましても、児童・生徒数の増加に伴い、1人当たりの相談時間や相談回数が減少するため、派遣時間を増やすことが必要だと思っておりますので、今後、検討してまいりたいと思います。

○教育長 その他ご質問等ございますか。
特になさいますのでこの報告を受けました。
次に日程第4を議題とします。

(日程第4 インフルエンザによる学級閉鎖の状況について(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございませんか。
特になさいますのでこの報告を受けました。

資料配布
・区議会議員の役職等名簿
・令和元年7月行事予定表
・目黒区放課後子ども総合プラン(2019年度事業案内)

○教育長 以上で本日の定例会を閉会します。

(午前10時55分閉会)